

ほろたち市 議会だより

平成22年4月30日発行
No.19



ご入学おめでとう



学 おめでとう

平成22年3月定例会

- あらたに正副議長が選任されました
- 平成22年第1回定例会 主な質疑／審議結果 … P2～3
- 平成22年度施政方針・主な質疑／一般会計予算 P4～5
- 平成22年度予算審議（常任委員会報告） …… P6～7
- ここが聞きたい！ 一般質問 …… P8～14
- 委員会活動報告／主な議会の動静 …… P15
- 傍聴者の声／6月定例会の予定 …… P16

今日から 僕も 私も 1年生☆「1年生になった～♪」巴第一小 入学式



平成22年第1回定例会において

「あらたに高野議長・小泉副議長が選任されました」



議長 高野 隆 徳



副議長 小泉 茂 尋

議長就任あいさつ

議長 高野 隆 徳

この度、平成22年第1回銚田市議会定例会におきまして、議員各位のご推挙により、不肖私が銚田市議会議長の要職に就かせていただくこととなりました。誠に身に余る光栄でありますとともに、責任の重大さをひしひしと感じ、身の引き締まる思いでございます。

さて、世界規模の不安定な経済状況のもと、本市においても依然厳しい財政状況でございますが、基幹産業である農業の発展、教育環境の整備、地域経済の活性化、少子・高齢化への対応等これらの課題に適切かつ弾力的に対応することが求められております。本市は今年、町村合併による市制施行5周年の節目を迎えますが、引き続き活力と魅力にあふれ、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めていくことが、市民の皆様の一一致した願いであるとの認識に立ち、その負託に応えるべく、皆様とともに頑張つてまいる所存でございます。

提出議案と審議結果

● 全員賛成
● 賛成多数
● 賛成少数

平成22年第1回銚田市議会定例会

平成22年度予算

- 銚田市一般会計予算
- 銚田市国民健康保険特別会計予算
- 銚田市老人保健特別会計予算
- 銚田市後期高齢者医療特別会計予算
- 銚田市介護保険特別会計予算
- 銚田市農業集落排水事業特別会計予算
- 銚田市公共下水道事業特別会計予算
- 銚田市旭区域水道事業会計予算
- 銚田市銚田区域水道事業会計予算
- 銚田市大洋区域水道事業会計予算

平成21年度補正予算

- 銚田市一般会計補正予算 (第8号)
- 銚田市国民健康保険特別会計補正予算 (第4号)
- 銚田市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号)
- 銚田市介護保険特別会計補正予算 (第4号)
- 銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第3号)
- 銚田市公共下水道事業特別会計補正予算 (第4号)
- 銚田市旭区域水道事業会計補正予算 (第2号)
- 銚田市銚田区域水道事業会計補正予算 (第3号)
- 銚田市大洋区域水道事業会計補正予算 (第2号)

条例・規則の一部改正等

- 銚田市手数料徴収条例の一部を改正する条例

これからの本市発展のために、誠心誠意、円滑なる議会運営に努めるとともに、議会をより活性化したものとし、議会機能の向上に全力を傾注してまいりますので、今後とも市民の皆様の温かいご支援並びにご指導を賜りますようお願いからお願ひ申し上げます、就任のあいさつとさせていただきます。

平成22年第1回定例会

〈本会議〉
3月8日

主な質疑

議案14号

銚田市水道事業給水
条例の一部を
改正する条例

水道料金が一部引き上げ
られます。

問 今後は水道の普及率の向上について力を入れていくべきではないか？

答 4月1日から今後3年間に渡り加入金の一部の軽減、または水道利用促進PR活動を積極的に実施し普及率の向上に努めます。

議案15号

銚田市放課後児童
クラブの設置及び
管理に関する
条例の制定

白鳥西小学校に放課後児童クラブを設置します。

問 銚田市放課後児童クラブの設置にあたり、職員数、実施時間については？

答 職員については、臨時職員を常時2名予定しています。時間については、平日は午後2時から6時まで、休業日等は午前8時から午後6時まで実施する予定です。

議案25号から29号

市道路線の認定・
変更について

北浦沿岸堤防の道路を市道として認定・変更します。

問 北浦沿道路の認定・変更にあたり、その管理はどうなるのか？

答 道路の認定については、舗装敷きを道路と認定し、その他法面については国交省が管理し、舗装が傷めば、舗装の部分については市で補修を行います。

◎銚田市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例

◎銚田市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

●銚田市水道事業給水条例の一部を改正する条例

◎銚田市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の制定について

◎銚田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例

その他

◎市道路線の認定について（4件）

◎市道路線の変更について

◎銚田市公の施設（銚田市宮新銚田駅前駐車場）の指定管理者の指定について

◎銚田市公の施設（ほっとパーク銚田、とつぷ・さんて大洋）の指定管理者の指定について

請願

●農産物貿易のさらなる自由化に反対する請願

●米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願

意見書

◎政治資金規正法の制裁強化を求める意見書の提出について

討論（反対や賛成討論があった議案）

銚田市一般会計予算

銚田市国民健康保険特別会計予算

銚田市後期高齢者医療特別会計予算

銚田市一般会計補正予算

銚田市水道事業給水条例の一部を改正する条例

平成22年度 施政方針

『3月定例会では初日の執行部提案説明の中で、平成22年度の施政方針について市長からの説明がありました。』

『自然を尊び、農を誇り、喜びを生み出す21世紀のまち鉦田』

《市政運営の基本方針》

平成22年度の市政運営については、引き続き、「いのちとくらしの先進都市」の実現に向けて、教育・福祉の充実、道路・環境などの生活基盤の充実、地域ブランドを高め、地域活性化に資するための産業の振興などに重点的に取り組み、市民が安心・安全に暮らすことができるまちづくりを目指します。

- 1 一人ひとりの健康と安全を支える地域づくり
- 2 次代の農業を中心とした力強い産業づくり
- 3 自然を感じる快適で安全な生活空間づくり
- 4 個性と多様性を尊び、地域文化をはぐくむ人づくり
- 5 市民を主役とする協働のまちづくり

施政方針に対する

主な質疑

総論について

問 各施策を進める上で一番大事なことは、

市民の皆様の理解を得ることだと思います。市長も説明責任が大事だと言っていますが、その大事な説明をする現場で働く職員に対してどのように指導をしていくのか伺います。

答 限られた財源で多くの事業をやっていくのは、難しい状況です。事業の見直しについては住民の皆さんによく説明をし、そして理解を求めることが大変大事であり、行政と住民の皆さんとの信頼関係が損なわれることは大変まずいことだと思います。今後とも職員には私の考えを徹底しながら、住民の皆さんに対し説明責任を果たし、理解を求め、事業を推進していきたいと考えています。



基本目標1

一人ひとりの健康と安全を支える地域づくりについて

問 市民の健康づくりについて、最近グラウンドゴルフが流行ってきていますが、会場が少ないため施設の整備をされたいと思うかがかか。

答 現在グラウンドゴルフ等については、ほととパーク鉦田等を利用して実施しています。また、総合公園の野球場や、陸上競技場多目的グラウンド等も利用して実施していますので、現在のところ施設の整備予定はありません。

基本目標2
次代の農業を中心とした力強い産業づくりについて

問 次代の農業を中心とした力強い産業づくりの中で、「主力品目について生産段階からブランド化の具現化」とありますがその内容について伺います。

答 主力品目はメロン、甘藷、トマト、葉物類が考えられます。メロン

では新品種の「イバラキング」の導入を図り、付加価値のあるメロンの生産、PRに取り組みます。また、甘藷・トマトについては、鉦田市ブランドとしての加工品の商品開発をする計画であり、生産者組織が協議をしながら、取り組みを実施していきます。それには、安全・安心の確保が必要不可欠であり、22年度からは鉦田GAPを取りいれ、生産者段階からのブランド化を目指していきたいと考えています。

基本目標3
自然を感じる快適で安全な生活空間づくりについて

問 鉦田市温室効果ガス排出抑制計画の目標値、平成17年度比6%削減に向けて節電等の省エネに対する取り組み、また、ごみ減量化及び地球温暖化防止に向けての意識啓発の取り組みについて、具体的内容を伺います。

答 温室効果ガス抑制計画の取り組みは、削減目標6%に向け、照明機器、OA機器、事務用機器

事務用の用紙、冷暖房の機器、公用車の燃料など、使用時における環境負荷の低減を図っていきます。また、庁舎壁面緑化を推進し、夏の冷房使用の抑制に努めます。昨年7月から実施しておりますマイバッグの持参推進運動についても、引き続き進めていきます。ごみの減量化に向けた意識啓発については、生ごみ処理器等の購入補助を継続して実施していきます。また、エコキャップの運動を継続し、これまで焼却していたエコキャップの再資源化を図り、ごみの減量化並びに温暖化防止に努めていきます。

基本目標4
個性と多様性を尊び、地域文化をはぐくむ人づくりについて

問 文化複合施設基本計画策定及び地質調査実施について、建設候補地選定にあたり、どのような地質調査をするのか。また、経済不況の中で箱物への批判意見も聞かれますが、どのように住民の理解・合意を得て建設するのか伺います。

文化複合施設基本計画策定及び地質調査実施にあたり、どのような地質調査をするのか。また、経済不況の中で箱物への批判意見も聞かれますが、どのように住民の理解・合意を得て建設するのか伺います。

答

候補地については選定委員会、旧3町村の中心、道路条件、排水、面積や周辺市街地発展の核になること等を条件とし、選定していただきました。候補地の地質調査結果は基礎資料として、基本計画策定の中で十分検討したいと考えています。住民の皆様には、地質調査・基本設計等を組み、より分かりやすい形にまとめて、各地区にて住民説明会を通して合意を図っていききたいと考えています。

基本目標5

市民を主役とする協働のまちづくりについて

問

市長が唱えます協働のまちづくりについて、住民自らのまちづくり活動を行う団体に対して、どのような支援をするのか伺います。

答

我々ができる行政サービスには限度がありますが、その中で住民の皆さんが自ら行う、まちづくり活動をする団体に対しては、手順を踏んで積極的に支援したいと考えています。



平成22年度予算について

問

「いのちとくらしの先進都市」の実現に向けた施策の推進にあたって、平成22年度予算編成においては重点的かつ効率的な財源配分により、事業を厳選したとしていますが、どのように行なったのか伺います。

答

実施事業の選定に当たり、新規事業については、緊急的にどうしても実施しなければならぬ事業に限定し、継続事業については、不要不急な事業を先送りすることを基本方針として実施事業の厳選を行いました。具体的には、土木費等を削減して学校給食センター工事費等に伴う教育費を増やして対応しています。国が投下する特定財源を有効に活用し、財政規律を重んじた中で、できる限り市民の皆様のご期待にこたえるべく予算編成を行いました。

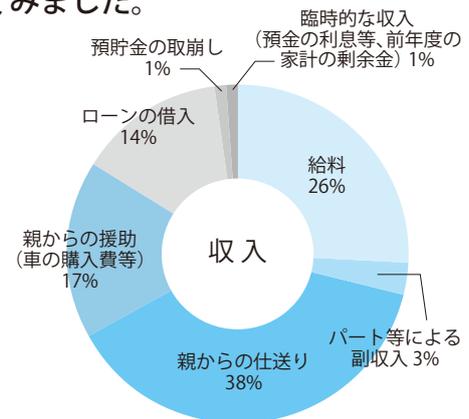
平成22年度 銚田市一般会計予算について

平成22年度の市の予算について、一般家庭の家計簿に例えてみました。

※家計については平成20年国民生活基礎調査(厚生労働省)から1世帯当たり平均所得金額5,562,000円と設定してみました。

○ 収入

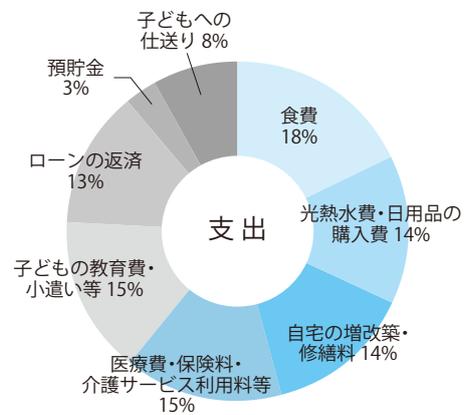
分類	家計(円)	市の予算(千円)	
		家計	市
給料	1,444,462	4,537,770	4,537,770
パート等による副収入	170,993	537,175	114,861
		537,175	193,017
		537,175	229,297
		537,175	229,297
親からの仕送り	2,128,249	6,685,885	5,873,885
		6,685,885	320,000
		6,685,885	300,000
		6,685,885	70,000
		6,685,885	50,000
		6,685,885	72,000
		6,685,885	72,000
親からの援助(車の購入費等)	931,354	2,925,845	1,679,239
		2,925,845	1,246,606
ローンの借入	781,379	2,454,700	2,454,700
預貯金の取崩し	32,903	103,364	103,364
臨時的な収入(預金の利息等、前年度の家計の剰余金)	72,660	228,261	200,000
合計	5,562,000	17,473,000	17,473,000



収入における市の予算を一般家庭の家計簿にたとえてみると、給料だけではまったく賅えず、親からの仕送り(国・県の補助)に依存しています。またローンの借入をするなど、家計は大変厳しい状況です。

○ 支出

分類	家計(円)	市の予算(千円)	
		家計	市
食費	1,017,301	3,195,847	3,195,847
光熱水費・日用品の購入費	761,551	2,392,408	2,392,408
		2,392,408	111,639
自宅の増改築・修繕料	789,092	2,478,929	2,366,239
		2,478,929	1,051
		2,478,929	2,652,723
		2,478,929	2,652,723
医療費・保険料・介護サービス利用料等	844,414	2,652,723	2,560,784
		2,652,723	99,400
子どもの教育費・小遣い等	846,789	2,660,184	2,202,173
		2,660,184	477,669
ローンの返済	700,995	2,202,173	2,202,173
預貯金	163,302	513,013	15,344
		513,013	20,000
		513,013	20,000
子どもへの仕送り	438,556	1,377,723	1,377,723
		1,377,723	1,377,723
合計	5,562,000	17,473,000	17,473,000



支出における市の予算を一般家庭の家計簿にたとえてみると、年々増加する医療費などの社会保障経費、子どもの教育費、ローンの返済等を賅うために、食費を切り詰めることで生計を維持しており、家計は大変厳しい状況です。

委員会報告

Commission report

平成22年 3月11日

総務企画常任委員会開催

平成22年 3月15日

経済建設常任委員会開催

平成22年 3月12日

厚生文教常任委員会開催

場所/ 銚田市役所 3階

議員控室

総務企画常任委員会

議案第1号の歳入における特定防衛施設関連市町村調整交付金が前年度に対して増額となった要因は、21年度見込み額を1割ほど低く見積もったことによる増額であり、実際には交付額は下がっているとのことでした。

再編交付金は防火水槽整備・消防車購入・道路整備に、合併特例交付金は電子計算機関係の業務システムの維持管理に、地域振興事業費補助金・電源立地対策補助金は道路整備に、高速増殖炉サイクル研究開発交付金は小中学校の空調整備・理科室の備品購入・図書購入にそれぞれ充てられるとのことでした。

地方交付税の増額については、全国で1兆円の増額となり、それに伴う歳入を見込んでいるとのことでした。

歳出における総務費について、(仮称)文化複合施設基本計画策定事業に関する計画策定委託料の計上について説明を求めたところ、22・23年度の2年間という期間を設け、住民の参画を

得て、基本計画をつくりあげることとした。なお、この基本計画が策定された際には住民に対し公表をしてコンセンサスを得ていくとのことでした。

また、交通安全施設工事等防犯灯設置工事については、カーブミラー、防犯灯を随時設置していくとのことでした。

消防費における常備消防費負担金について、消防本部の業務見直し等により減額になっていましたが、常備消防の役割はますます強くなっていくと思われるので、それらの働きかけを鹿行広域事務組合にしていこうことを要請しました。また、消防施設については防火水槽工事、消防ポンプ車の整備を図るとしています。

また、21年度に土砂災害の危険箇所現地調査が行われたことを受け、22年度ではハザードマップを作成して、当該者に対し配布をするとのことでした。

公債費における借換えに関することについては、水道事業会計で実施しているものを一般会計においても進めていくとのこと

とでした。

採決の結果、議案第1号の本委員会所管事項については、賛成多数により原案のとおり可決しました。

経済建設常任委員会

議案第1号歳出商工費中、消費者行政推進事業については、県の消費生活センターは保健センターで稼働されます。相談員の育成強化と共に、さらなる消費者行政サービスの強化を図っていくとのことでした。



経済建設常任委員会



厚生文教常任委員会

大竹海水浴場の今後の運営等について質疑があり、南側駐車場整備に続き22年度は道路の舗装工事も行い整備していくとのことでした。年々減少傾向の海水浴客の集客アップのために、かしまなだ海浜公園等も活用して、様々な取組みやPRをしていただくようお願いしました。

農産物の加工品について22年度は新たに5品目を発表することでした。加工場を市内に造れば雇用の活性化も図れ、販売店を地元を増やせば、さらなるPRにもつながるので今後は市への観光客誘致を図る戦略も取組むよう要請しました。

7款土木費、県支援助道路である(仮称)造谷地内幹線道路及び(仮称)市道銚田大洋線事業が凍結された経緯について質疑が集中しました。合併特例債事業で計画された道路整備12事業は、建設費の大幅な増加が見込まれ、事業見直しが必要になったため、本来、県事業として整備する本路線については凍結をはかり歳出を抑えたとのことでした。

議案第6号、舟木地区の農業集落排水事業について21年度事業の進捗状況の質疑がされ、1期地区工事は環境整備、処理場の用地取得が終了し、計画の40%が実施され、25年度の完成を目指し業務遂行しているとのことでした。今後の下水道事業実施計画については、県の生活排水ベストプラを参考に農業集落排水、公共下水道、合併浄化槽での整備コストを算出し、一番低コストの計画を立てて整備していくとのことでした。

採択の結果、議案第1号の本委員会所管事項及び議案第6号、議案第7号については全会一致で原案のとおり可決しました。

厚生文教常任委員会

議案第1号歳出の民生費における遺族会への補助金について、3つの遺族会の合併は、これまでに何度か協議しましたが、現段階ですぐに合併ということにはならないとのことでした。乗合自動車運行事業において、住民から要望があっ



総務企画常任委員会

た場合、対象地域の選定や費用面の問題もあり、すぐ拡大するということは困難だが、中長期的に見ればとてもよい事業なので、今後ともさらに検討していきたいとのことでした。

衛生費におけるほつとパーク銚田、とつぷ・さんて大洋の管理運営委託料を削減したことについては、それぞれの施設の光熱費や燃料代が前年度と比較して安い価格になったためとのことでした。

教育費における小学校通学費補助事業について、旭東小上釜地区の保護者の団体に對し、バス通学をしている児童の保護者に補助を行うとのことでした。

幼稚園費では、今まで保護者が送迎していた関係もあつて利用状況の低い銚田幼稚園の保護者方に有効活用してもらうようお話をし

て改善を図っているとのことでした。

学校給食センター整備事業の内容について、22年度中に本体や車庫の建築、施設内の備品関係の整備、外構工事等を行い、施設オープン時期は、23年9月を予定しているとのことでした。なお、調理員についても、1学期中は従来どおりの学校給食で、夏休みに新しい給食センターで研修をしてもらい、9月から稼働できるように考えているとのことでした。

議案第8号から第10号の水道事業会計について、21年度加入件数は、3区域全体で9512世帯、22年度は9745世帯見込まれることから今回の料金改定によって、3170万円程度収入が見込めるとのことでした。また、23年度は1万42世帯で4700万円、24年度は1万339世帯で5172万円の増収が見込めるだろうとのことでした。

採決の結果、議案第1号から第5号、及び議案第8号から第10号については、全会一致で原案のとおり可決しました。

ここが聞きたい!!一般質問

13人の議員が一般質問

議員名	質問事項
友部政徳	(1) 農業施策について (2) 道路行政について
江沼久男	(1) いのちとくらしの先進都市について
井川茂樹	(1) 子育て支援の施策について (2) 学校施設適正配置について
飯塚 幸右衛門	(1) 道路について (2) 不動産公売について
方波見 和彦	(1) 学校の燃料費について (2) 建設工事の分離発注について
倉川陽好	(1) 産業廃棄物の不法投棄取締りの定義について (2) 文化財の市指定について
畠 長弘	(1) 銚田市健康づくり財団について (2) 銚田GAPの設置について (3) 酒沼駅渚湖畔のPR観光開発について
小沼洋一	(1) 基金について (2)ゴミ問題について (3) 公共工事費の追加について
水上美智子	(1) クリーンセンターについて (2) さくらについて (3) 検診の受診率について (4) 介護総点検について
菅谷達男	(1) 結婚相談・支援「いばらき出会いサポートセンター」との連携について
小沼俊秀	(1) 合併特例債事業について (2) ごみ不法投棄について
高野 衛	(1) 休日の戸籍関係の窓口が本庁に集約されることについて (2) 契約について (3) 仮称・文化複合施設について (4) AEDの管理と配備について (5) 住宅・店舗リフォーム資金助成制度の創設について (6) 安心して子育てできる社会にするために
入江 晃	(1) 農産物加工場について (2) 地デジ受信障害について (3) 戸別所得補償制度について

**ホームページで
一般質問の会議録が
見られます。**

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

- ① 銚田市のホームページへアクセスする。(アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>)
- ② 市ガイド内の「銚田市議会」をクリックする。
- ③ 会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、6月頃の予定です。本会議の会議録(冊子)は、市立図書館で閲覧できます。

J Aの合併

友部政徳 議員

問

市にはJ A茨城旭村、J Aかしまなどがあ
り、両J Aとも県内では良い
業績を残しています。しかし、
市の農業発展のためには両J
Aの合併が不可欠だと思いま
す。現状と市の対応策につい
て伺います。

答

【産業経済部長】 これま
でに3回研究会を開催
しましたが、合意には至りませ
んでした。その後、J A中央会
による会議が開催されたとのこ
とですが、合併の話が前進した
経過報告は受けていません。J
Aの合併は、農業振興を力強く
推進し、市域全体の農業の均等
ある発展を目指すためにも避
けて通れない時期に来ていると
思っています。しかし、合併する

か否かは、両J A
並びに組合員の皆さん
の意思を重視すべきと考えま
す。今後の動向を注視し、何ら
かの方向性があれば、市として
も両J Aとの協議をしていけれ
ばと考えています。

問

鹿行管内には4つのJ
Aがあります。将来に
向けての広域合併について、
市の考えを伺います。

答

【産業経済部長】 J A中央
会は、鹿行広域として1
J Aという構想を立てています。
当然市内2つのJ Aがまとまら
ないと、4つがまとまるのは難
しいと考えていますので、市内
2つが1つになりながら広域合
併するのが一番好ましいのかな
と考えています。



行財政改革

江沼久男 議員



問 「いのち」と「くらし」の先進都市を目指すために、行財政改革について、現在どのような施策を考えているのか伺います。

答 【総務部長】これまで、鉾田市行政改革大綱や鉾田市定員適正化計画等に基づき、一定の成果を上げることができたと考えています。特に人件費については、行政運営にかかわる人口1人当たりの人件費の低さを試算した自治体生産性ランキングで、県内1位にランクされました。22年度には、第2次鉾田市行政改革大綱並びに第2次鉾田市定員適正化計画を策定し、一層の行財政改革に取り組みたいと考えています。

問 財政の軽減を図るために、できるところは法人による民営化を進めるといふ考えはあるのか伺います。

答 【総務部長】行政改革の中で民営化、外部民間委託については検討し、進めているところです。具体的には市内7つの施設について、3つの法人に指定管理者として委託しています。今後についても、合法性、さらにはコスト面、サービスが低下しないかを考慮しながら、できるものから民営化を進め行政の軽量化を図りたいと考えているところです。

問 市は昨年、鉾田市公立学校施設適正配置計画策定委員会を立ち上げました。市の考えと、今後の方向性について伺います。

答 【学校教育課長】昨年12月に鉾田市公立学校施設適正配置計画策定委員会を設置し、現在小学校の適正配置適正規模の再編について検討していただいているところです。策定委員会から年内に答申をいただけるようなので、市民の皆さんにご説明、ご理解をいただきながら実施に向けて進めていきたいと考えています。

問 子供たちがこれほど減っている中、中学校4校、小学校20校というのは、やはり多いのでは。検討委員会を重視するのは当然ですが、市長の考えを伺います。



答 【市長】小学校20校を同じ場所に建てかえるのは難しいと思います。また、統合してもスクールバスが必要になってくると思います。逆に言えば、スクールバスを運行すれば、広範囲でも生徒さんに対応できると考えています。今後、策定委員会の結果を踏まえながら具体的な計画策定をしていきたいと考えています。

学校施設適正配置

井川茂樹 議員

市道の整備

飯塚 幸右衛門 議員

問 旧町村時代に要望された道路申請が各区長に戻されました。再度、要望された道路は旧町村単位で何本ありましたか。また、上沢43・45号線は、くい打ちが終わって約2年になります。その後の経過を伺います。

答 【建設部長】 継続の道路要望は、旭地区10件、鉾田地区19件、大洋地区9件の合計38件です。43・45号線の状況については、路線測量及び詳細設計が完了し、用地測量に伴う立ち会い作業を行っているところです。しかしこの地区は、地籍調査事業が未実施であり、用地の買収等もできない状況になっています。

問 43・45号線においては、同意書の問題で県外地権者が多いため、なかなか会いにも行けない現状かと思いますが、市としてどのような対応を考えているのか伺います。

答 【建設部長】 県外地権者が多い状況を考えると、今後どういう形の境界立ち会いができるのか、関係部署と検討していかなくてはいけないと思います。例えば、本人に郵送した文書が各地に届くかどうかの確認作業をしての文書でのやりとり、もしくは電話でやりとり等も検討していくべきかなと考えています。



学校の燃料費

問 諏訪小学校では燃料費が不足して、十分に暖房を使うことができないと聞きました。原因について伺います。また、そのような現状を、市はどのように考えているのか伺います。

答 【学校教育課長】 今回の暖房燃料費の予算不足の要因について調べたところ、給食用プロパンガス購入代の予算計上額が、現状の実績見込額と比較して少なかつたためと思われる。各学校の先生方には、予算節約のため、さまざまな創意工夫と配慮をいただいています。大変ご苦労をかけています。これまでも状況に応じ、

支障のないよう対応に努めてきましたが、今後も、学校側と連携を密にし、学校運営に支障が出ないように努めていきたいと考えています。

問 子供たちは寒さに震えながら、文句も言えず勉強しています。私は、環境が整って初めて効果が出ると思います。この現状を教育長はどのように思っているのか。また何か改善策はあるのか伺います。

答 【教育長】 今、いろいろな角度から、学校の教育環境整備等について十分に検討していただいています。今後できるだけ、どの学校でも同じく、良い環境で子供たちが学べるような体制をつくっていきたいと考えています。

方波見 和彦 議員

建設工事の分離発注

倉川陽好 議員



解説

J・Vとは、Joint venture＝共同企業体の略で、複数の建設業者が共同で工事を受注し、施工・完成させる方法のこと。

答 【総務部長】分離発注を行うことによって、専門の技術力を備えた業者に発注することが、公共工事の良質な品質の確保や地元業者への受注機会の拡大につながるというメリットもあります。分離することによるデメリットもあるかと思いません。なお、現在大型工事については、JVという形で、地元業者も参画できるように進めています。

問 建設工事等の発注は、現在県内でも地元業者が仕事しやすいよう分離発注で入札契約しているところが多くなっているようです。市でも分離発注を考えても良いのではないかと思います。執行部の見解を伺います。

答 【市長】確かに分離発注をすることによって、分離業者が責任を持ってやるという面はあると思います。しかし、一括でやると全責任は元請が負いますが、分離したことによって責任が両方に兼ね合うような場合も当然想定されます。今後、十分に検討していきたいと思えます。

問 分離発注は地元業者が入れる利点ばかりではなく、工事後の電気部分や配管部分等の管理についても一括発注では分かりづらい下請業者が明確に分かり、アフターケアも良いとの話も聞いています。市長の考えを伺います。



銚田市健康づくり財団

畠 長 弘 議員

問 4月1日に財団合併により、とつぷ・さんて大洋、ほっとパーク銚田、鹿島灘海浜公園を管理運営する財団法人銚田市健康づくり財団が誕生します。具体的な活動内容に対する行政としての指導と取り組みについて伺います。

答 【健康福祉部長】22年度は合併初年度でもありますので、施設を管理運営する中で、これまでそれぞれに培ってきたノウハウを最大限に活用し、コスト削減やサービス向上を図る事業展開を検討するよう指導していきます。また、公益性を高めた財団として、有効活用しながら市民への健康づくりの普及に努めるよう指導していきます。

問 市民からは年間1億円以上もの経費が計上される同様の施設は、2か所もいないのではないかと意見もありますが、市長の考えを伺います。

答 【市長】指定管理者制度を導入しても、市から財団へお金が動いているのは事実です。しかし、両施設は温泉以外にプールやジムなどもあります。例えばお年寄りの方が利用することによって、健康増進されれば医療費等もかからなくなります。施設をより多くの住民の皆さんに使ってもらうことが一番大事だと考えています。

基金の活用

小沼洋一 議員

問 厳しい財政状況の中、将来を考え、約66億円の基金が積み立てられています。市債をしながらの基金は、どれくらい積み立てる必要性があるのか。将来も大切ですが、今、使うことも必要だと思います。66億円の基金を現況で使っただけでないか伺います。

答 【総務部長】 合併特例期間終了後の平成28年度以降には、地方交付税の11億円程度の大幅な削減が予想されているほか、短期的にも学校施設の整備や、その他のインフラ整備など、大規模な財政負担が伴う事業が予定されています。合併特例債を初めとした特定財源を有効活用できる今だからこそ、可能な限り基金に依存しない事業推進に努め、将来負担に備えることが、持続可能な行財政運営には必要不可欠であると考えています。

問 市長が掲げているスローガンの中で、基金を取り崩しても市としてやるべきものがあるのではと思います。市長の考えを伺います。

答 【市長】 毎年、毎年やるような事業に基金を充てるべきではないが、単発的な事業で本当に必要であれば、基金を崩してやっていくべきだと考えています。



検診受診率

水上美智子 議員

問 乳がん、子宮頸がんの無料クーポン券の対象者の方で、既に受診された人数と受診率について伺います。

答

【健康福祉部長】 女性特有のがん検診推進事業による無料クーポン券を発行した対象者数と、受診者数及び受診率は、2月19日現在で、乳がん検診が対象者1749人、受診者数479人で受診率は27.4%、子宮頸がん検診が対象者1376人、受診者数が229人で受診率は16.6%です。20年度と比較すると、両検診ともふえていますので、クーポン券の効果があつたと認識しています。

問

政権が変わり、この事業は自治体が2分の1を負担することになりました。取り組みをやめた自治体もあると聞いています。本市として、この検診がいかにも大事であるかを位置づけるためにも、どのような啓蒙をさらにしていくのか伺います。

答

【健康福祉部長】 市としては、一般財源で2分の1を負担して、本制度を22年度も実施する予定です。引き続き市の広報などを利用して、市民の皆さんに啓発を行っていきたいと思っています。



結婚相談・支援「いばらき出会いサポートセンター」との連携

菅谷達男 議員

問

いばらき出会いサポートセンター推進事業担当の県子ども家庭課では、「市町村、団体、企業、ボランティア等との連携を強化し、それを組織化して全県的な支援活動を展開することにより、なお一層の相乗効果を高めていきたい。」と話しています。本市でも担当窓口を設置する考えはあるのか伺います。

答

【健康福祉部長】市では子ども家庭課が窓口となり、いばらき出会いサポートセンターの周知、広報を行っています。今後は、出会いサポートセンターと協議しながら、共催等の事業化に向けた検討をしていきたいと考えています。担当

窓口の設置等についてもあわせて検討をしていきたいと考えています。

問

担当窓口設置については検討ということですが、出来れば早急に設置してほしいと思います。鋭意協議していただけないか伺います。

答

【健康福祉部長】子育て支援の一環ということも考えると、子ども家庭課が担当窓口になっても支障はないとは考えています。今後改めて協議をして、きちんと対応をしていきたいと思っています。

問

合併特例債事業期間は17年度から10年間となっており、残り5年となりました。事業の進捗状況を伺います。また、文化複合施設の計画についても伺います。

答

【総務部長】現在33事業中、20事業に着手しており、着手率60.6%、完成率24.4%、完成事業費32億8,900万円です。文化複合施設については、22年度に調査、基本計画をし、総事業費13億9,000万円を予定しています。

問

文化複合施設に13億9,000万円もかかると聞いたら、建設しないほうが良いという意見も多いと思います。市長の考えを伺います。

答

【市長】文化複合施設は、合併の際に住民の皆さんからアンケートをとった中で要望があって、まちづくり計画に上げた経緯があります。しかし、財政的な問題等、反対的な住民の皆さんの声もありました。私としては、大変老朽化が進んでいる中央公民館の建てかえとして検討していきたいと考えています。最終的には住民の皆さんに了解を求めなければならないので、順次、基本設計等段階的に説明をしていきたいと思っています。

合併特例債事業

小沼俊秀 議員

文化複合施設

高野 衛 議員

問 文化複合施設は、住民合意を基本とし、財政計画、利用率など新市計画の優先順位を十分検討し、行うべきと考えます。小学校や公共施設での耐震補強工事、木造住宅の耐震補強工事への助成、特別養護老人ホームやグループホームへの入居待機者の解消。これらは、まさに命にかかわる問題だと思いますが、どのように認識をしているか伺います。

答 【総務部長】 特例債事業は、使用制限があり、合併と無関係の事業を優先順位として検討することは適正ではないと判断しています。文化複合施設は、利用する市民の意見を広く取り入れることが重要と考え、公募による基本構想策定委員会を設置し、基本構想の答申をいただきました。その答申を基本として、22・23年度の2カ年をかけ、整備計画を作成する考えです。

問 命に直結する問題は優先順位のトップだと思います。特例債事業については期間があと5年と十分にあり、まずはこの問題を優先して行い、その後文化複合施設を建設しても遅くはないと思います。市長の考えを伺います。

答 【市長】 特例債事業と一般財源で行う事業とを、同じ視点で優先順位を判断するのは、適当でないと判断しています。特例債事業が10年間という期間の中で、事業費が膨れ、見直し等も進めながらやっていかなければなりません。あと5年もあるのではなく、もう5年しかないという認識の中で事業を進めていきたいと思えます。



地デジ受信障害

入江 晃 議員

問 市内において、地上デジタル放送の受信ができない地域及び個人住宅があった場合、その原因と今後の対応はどのようにするのか伺います。また、受信障害も含めて地上デジタルの相談窓口を設置していただけなのか伺います。

答 【総務部長】 市全域は水戸中継局からの受信エリアとなっており、総務省調査によると、市内で12地区1063世帯が難視世帯とされています。原因は、水戸中継局方面に高台がある地形的状況によるものではないかとのことです。難視対策については、国は通信衛星（BS）を利用した難視地域の解消

を、暫定措置として決定しています。また東京スカイツリーの完成に伴い難視解消も見込まれています。依然として難視が残っている場合には、中継所の設置など、国や関係機関へ働きかけが必要になってくるのかなと考えています。専門の担当部署の設置は、専門的な知識を有する職員や測定機器等も必要であることから、困難と考えています。しかし、現在も地デジに関する問い合わせがあり、総務課で相談に当たっています。今後も総務課を窓口として対応していきたく考えています。



委員会活動報告



1月26~27日 厚生文教常任委員会視察研修



1月28~29日 議会運営委員会視察研修



2月4~5日 総務企画常任委員会視察研修



2月9~10日 経済建設常任委員会視察研修



2月18~19日 茨城空港利活用に関する調査特別委員会視察研修



2月25日 百里基地騒音対策特別委員会視察研修

主な議会の動静

2月

2日

茨城空港利活用に関する調査特別委員会

3日

京都府福知山市議会来庁

4~5日

総務企画常任委員会視察研修
(千葉県山武市・君津市)

5日

茨城県市議会議長会
第2回議員研修会(神栖市)

9日

全国市議会議長会第88回評議員会
(東京都千代田区)

9~10日

経済建設常任委員会視察研修
(長野県飯田市・長野市)

17日

正副議長・正副委員長会議
(茨城空港利活用に関する調査特別委員会
視察研修(静岡県牧之原市))

18~19日

百里基地騒音対策特別委員会視察研修
(小美玉市)

24日

百里基地騒音対策特別委員会視察研修
(小美玉市)

25日

百里基地騒音対策特別委員会視察研修
(小美玉市)

3月

2~18日

平成22年第1回定例会

2日

全員協議会

4日

議会運営委員会

5日

議会広報編集委員会

8日

議員定数及び議員活動に関する調査特別委員会

11日

総務企画常任委員会

12日

厚生文教常任委員会

15日

経済建設常任委員会

16日

議員研修会(普通救命研修会)

15日

県東市議会議長会定例会(小美玉市)

16日

茨城県市議会議長会定例会(水戸市)

22日

議会広報編集委員会

27~28日

関東市議会議長会第2回理事会
及び第76回定期総会(群馬県前橋市)

傍聴者の声



銚田市下富田
富田 晃 弘

景気回復が遅々として進まない今日この頃ですが、先日(3月5日)、平成22年第1回銚田市議会定例会を傍聴する機会に恵まれました。議会では、質問する議員と答弁する行政側との質疑応答が活発に行われました。特に、一問一答の場面では、内容についての勉強と知識がないと答えられませんが、行政側の担当者がてきばきと対応する姿はさすがだと思いました。市が良くなるということは、私たち市民一人一人の声が行政に反映し、暮らしがよくなることだと思います。そういった意味で、市政に関心を持つのは大変意義のあることだと実感しています。傍聴者も、午後になると少なくなるようですが、市をより良くするには傍聴者をもっとふやし、一人一人が市政に関心を持ってもらうのが何よりも思いました。また、月に1度発行される広報を見るのも大事なことだと思います。

6月定例会日程(予定)のお知らせ

月 日	会議内容
6月 8日(火)	本会議開会
6月10日(木)	本会議(一般質問)
6月11日(金)	本会議(一般質問)
6月14日(月)	委員会
6月15日(火)	委員会
6月16日(水)	委員会
6月17日(木)	本会議閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成22年第1回(3月)定例会の延傍聴者数 **91人**

編集後記

今日、少子高齢化の進行、厳しい経済財政状況、地域主権の進展など地方自治体をとりまく環境は、大きく変化しています。

こうした中で、市民の皆さんと行政とが、より緊密に協力しながらまちづくりを進めていく『市民協働』という視点が強く求められる時代になってきました。『市民協働』とは、市民の皆さんと行政とが対等のパートナーとして地域の公共的課題の解決に向けて、共に考え、協力して行動することだと言われております。市民の皆さんと行政そして議会が地域の公共的課題の情報を共有すること、三者がしっかりと情報のキャッチボールをすることが大切です。

今年も議会報告会が開催される予定であります。多くの市民の皆さんのご来場をお待ちしております。

(菅谷 達男 記)

- 委員長 水上美智子
- 副委員長 方波見和彦
- 委員 小沼 幸義 菅谷 達男
 山口 徳 栗田 洋